



ねんりんピック秋田2017 健康マージャン交流大会

全国の代表選手が集い腕前競う



第15回 北秋田市たかのす 太鼓まつり



健闘した秋田県選手団



しやろ=む太鼓
ファイナルでは、綴子下町・下町太鼓保存会が合同演奏を披露。4張りの大太鼓が雷鳴のような轟き音で観客を魅了したほか、出演した各団体の演者たちが、一斉に太鼓を打ち鳴らし盛大にまつりを締めくくりました。

4張の大太鼓と競演

第15回北秋田市たかのす太鼓まつりが、9月10日に大太鼓の館野外ステージで開かれ、趣向を凝らした迫力ある太鼓演奏や優雅な踊りを見ようと、市内外から大勢の観客が詰めかけました。

圧巻のバチさばきとリズムで観客を魅了

また、ゲスト出演の小馬崎達也&パンゲアが、ギターや篠笛などの幻想的な音の響きで会場を包み込んだほか、仙臺(せんたい)舞(まい)2017が、一糸乱れぬ優雅で可憐な舞を披露しました。さらに、太鼓祭日本一の創作和太鼓集団「打鼓音」が、圧巻のバチさばきと迫力ある太鼓のリズムを披露し、会場には大きな歓声と拍手が響き渡りました。



打鼓音



綴子婦人会



合川太鼓保存会

ねんりんピック秋田2017の健康マージャン交流大会が、9月10日・11日に鷹巣体育館で行われ、全国から68チーム、271人の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。

多彩なイベントで全国の選手をおもてなし

10日の開始式では、大会会長の津谷市長が「選手の皆さんを見てみると、とても元気で若々しく、生き生きとしていて、しっかりと健康マージャンの効果表れていると確信している。体調には十分に気を付けて勝利を目指して頑張ってもらいたい」などと全国から集まった選手と観客を歓迎しました。

頭脳のスポーツ健康マージャン

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方を中心に、あらゆる世代の人たちが、交流を深めることができるスポーツと文化の祭典です。

北秋田市で開催された「健康マージャン」は「お金を賭けない、お酒を飲まない、たばこを吸わない」をモットーに「仲間づくり、生きがいづくり、健康づくり」に役立つ頭脳のスポーツです。

このあと団体戦の競技が始まり、各テーブルからは「リーチ」「ロン」などと威勢のいい声があがり、白熱した対局が展開されました。対局の合間には、お互いのふるさとの話題などで交流を深めていきました。

また、アトラクションとして、比立内駒踊りや綴子大太鼓が披露されたほか、プロ雀士との対局や内陸線車内の対局、健康体操、きりたんぼの振る舞いなど多彩なイベントも行われ、大会を盛り上げました。

秋田県からは6チーム、24人が出場し、そのうち北秋田市からは11人が出場しました。1日目の団体戦ではFチームの11位が最高得入賞(8位以内)には届かなかったものの、2日目の個人戦では、小林一徳さん(米内沢新町)が県勢最高得点で7位入賞に輝きました。

【大会結果】《団体戦》▽優勝 神奈川県▽準優勝 石川県▽第3位 札幌市《個人戦》▽マタギブロック 優勝 鈴木力(札幌市)▽森吉山ブロック 優勝 若原順子(北九州市)▽あじさいブロック 優勝 兵頭英昭(愛媛県)▽大太鼓ブロック 優勝 篠山良治(滋賀県)